人と医療のまんなかで、
Miraca

みらかホールディングス株式会社

# 2019年度（2020年3月期）
# 決算説明資料

2020年 5月 13日

※ 本資料では、記載している部分及びEBITDAの数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と省略する場合があります。

※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| CLT | ：受託臨床検査事業 | IVD | ：臨床検査薬事業 |
| SR | ：滅菌関連事業 | ENB | ：新規育成事業及びその他 |

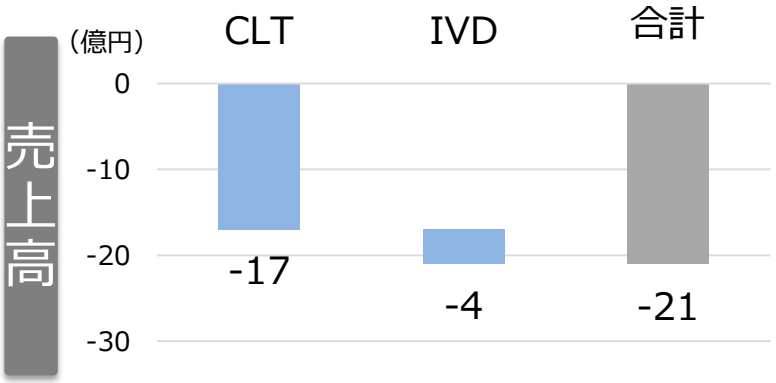
※ 2019年度第1四半期より報告セグメントを変更しております。本資料は過去実績も遡及し、変更後の報告セグメントの報告区分に基づき作成しております。

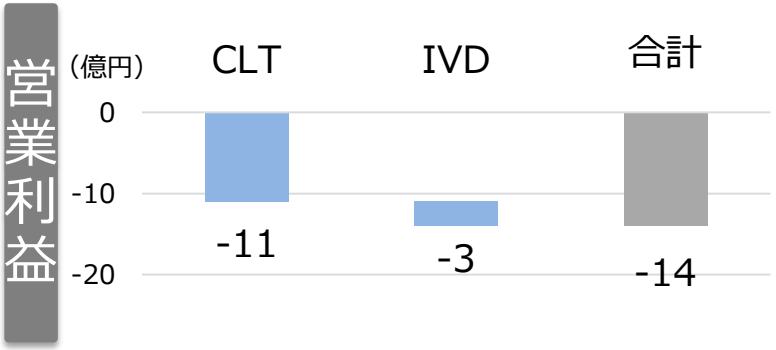
※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 2018年度 | ：1USD＝110.92 JPY | 1EURO＝ 128.41 JPY |
| 2019年度 | ：1USD＝108.74 JPY | 1EURO＝ 120.82 JPY |

# 2019年度第4四半期における新型コロナウイルスの影響について

## 業績への影響




- 2月中旬以降に影響が顕在化
- 売上高：約21億円、営業利益：約14億円

CLT事業

✓ 外出自粛要請等により患者の受診抑制
✓ 医療機関からの検査受託数の減少

IVD事業（国内ルミパルス事業、OEM・原材料事業）

✓ 検査需要の減少
✓ 一部物流の遅延（OEM事業）

# 新型コロナウイルスへの対応

## CLT

- PCR検査受託体制の立ち上げ
  （みらか中研との協業）
  - ✓ 2月12日より受託開始
  - ✓ 検査キャパシティ
    - 1,600件/日（5月13日現在）
    - 東京(八王子)、京都、札幌、福岡で実施
- 5月中に4,000件/日以上にキャパシティを拡大

## IVD

- エスプライン試薬の開発・上市
  - ✓ 国産初の抗原検査
  - ✓ 感染症検査薬の開発ノウハウを活用、短期間での開発
  - ✓ SRLで性能評価
- ルミパルス用抗原及び抗体検査を開発中

- 感染拡大防止に重要な役割を果たす検査体制・製品を短期間で提供
- グループ内での協業が短期での成果を生んだ（グループシナジー強化の成果）

# 新型コロナウイルス抗原迅速検査キットについて

人と医療のまんなかで。Miraca

短期間で新型コロナウイルス抗原を検出する検査キットの製造販売承認を取得
（製品名：エスプライン®SARS-CoV-2）

- ウイルス量の多い感染者を特定するための感度を有する
- 外部医療機関及びSRLにて性能評価を実施
- 一般的なヒトコロナウイルス等の抗原とは交差反応性がない
  （これまでに実施した範囲において）
- 反応開始から30分以内（陽性判定：約10～30分、陰性判定：30分）で判定が可能
- 20万テスト/週の生産を見込む

臨床の現場に検査結果を早く届け、早期に感染者の特定・治療等のアクションが取られることが期待される

# 2019年度業績予想と実績との差異について

| | 4月24日修正 | 実績 | |
|---|---|---|---|
| 営業利益 | 99 | 99 | ±0 |
| 持分法による投資損失 | -43 | -35 | +8 |
| BMGL | -24 | -24 | ±0 |
| **会計処理変更影響** | **-12** | **-4** | **+8** |
| 平安JV | -7 | -7 | ±0 |
| 経常利益 | 56 | 65 | +9 |
| 当期純損失 | -13 | -5 | +8 |

（億円）

4月24日修正
BMGLにおける会計処理変更の影響を最大限取り込んだ場合を想定

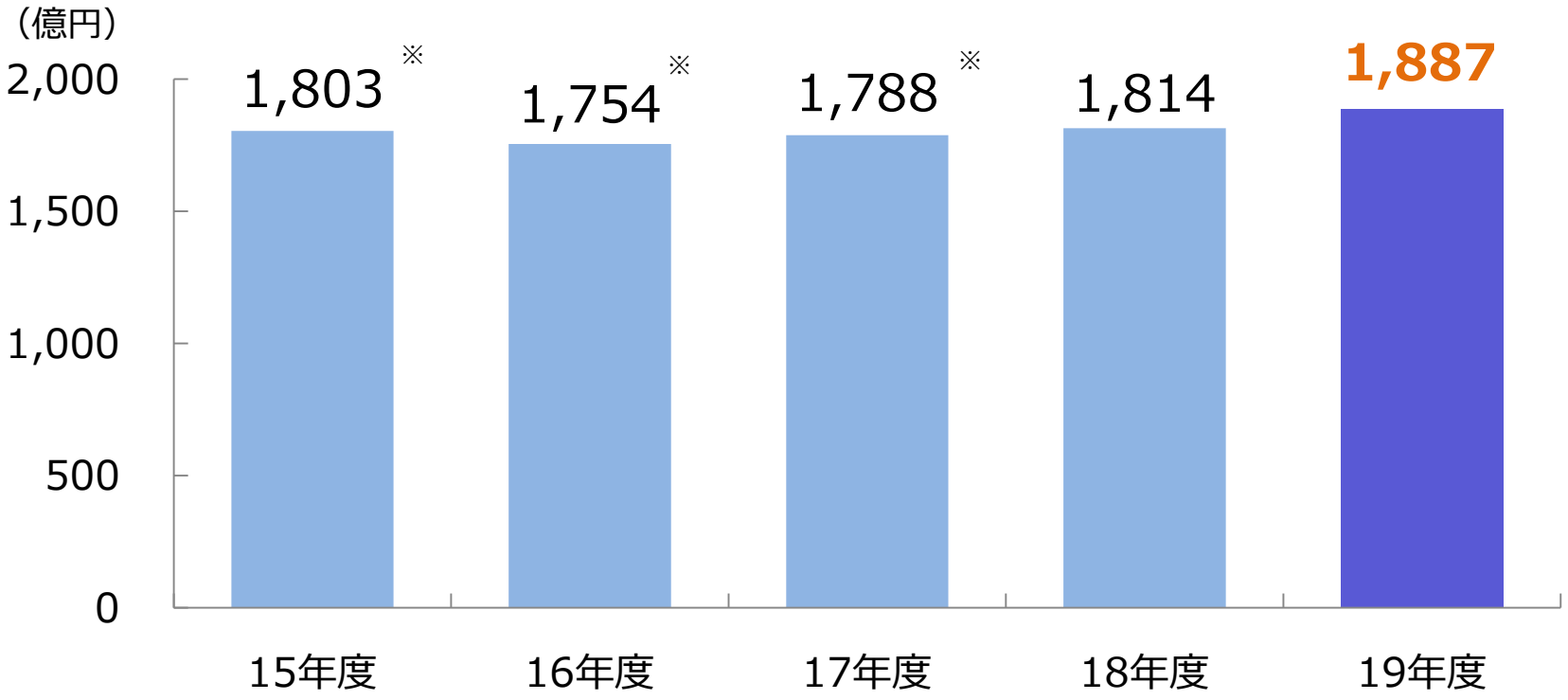
実績
BMGLの会計監査人との協議の結果、影響が想定を下回った

# 2020年度計画ついて

| | |
|---|---|
| **見通し** | • 新型コロナウイルスの影響を適正かつ合理的に算定することが困難<br>　• 現時点では2020年度業績予想は「未定」<br>　• 当面は「Transform! 2020」を延伸した施策を推進 |
| **足元の状況と当面の対応** | • 4月業績<br>連結ベースでは黒字確保。CLT事業の一日当たりID数は対前年比約30%減<br>• PCR検査のキャパシティ拡充と抗原検査キットの業績への影響は想定が困難<br>• 当面は設備投資及び経費のコントロールを継続 |
| **配当** | • 配当額は未定としているが株主還元方針は維持<br>　• 連結配当性向50%以上を基準に、株主配当を実施<br>（特別損益等特殊要因を除外し計算した当期純利益に対する配当性向） |

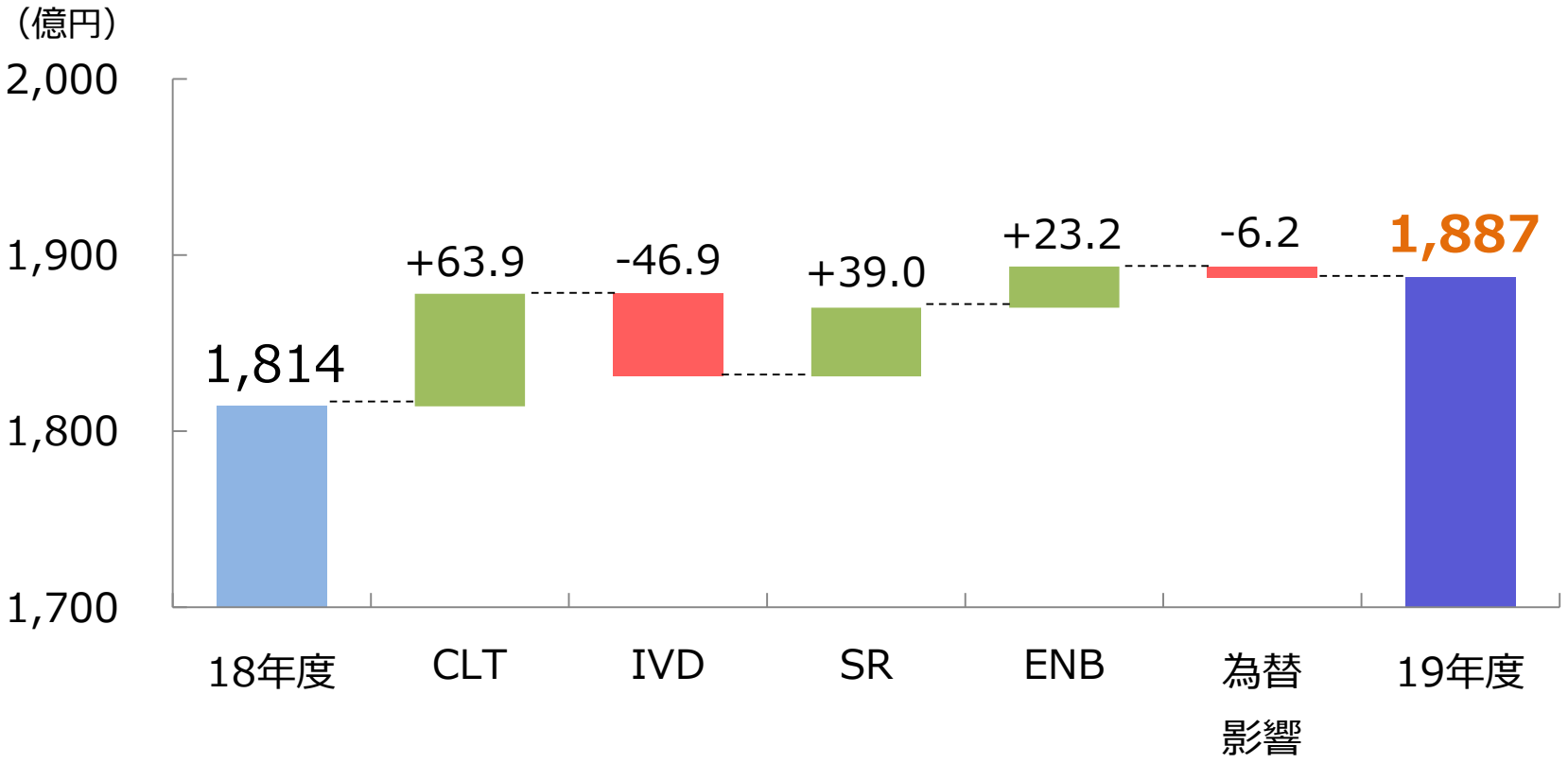
# 2019年度　業績概況

# 連結売上高 推移

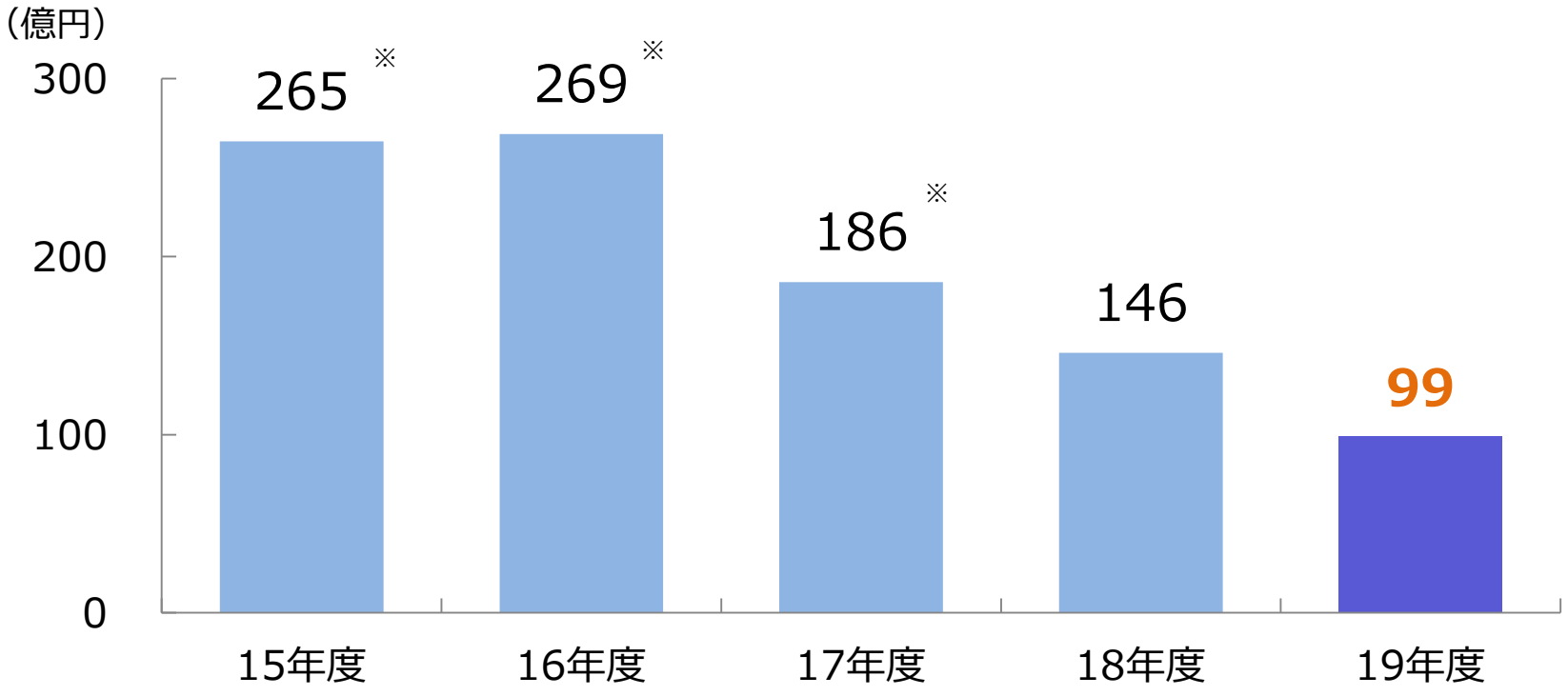



※　海外CLTを除く

# 連結売上高 対前期比較

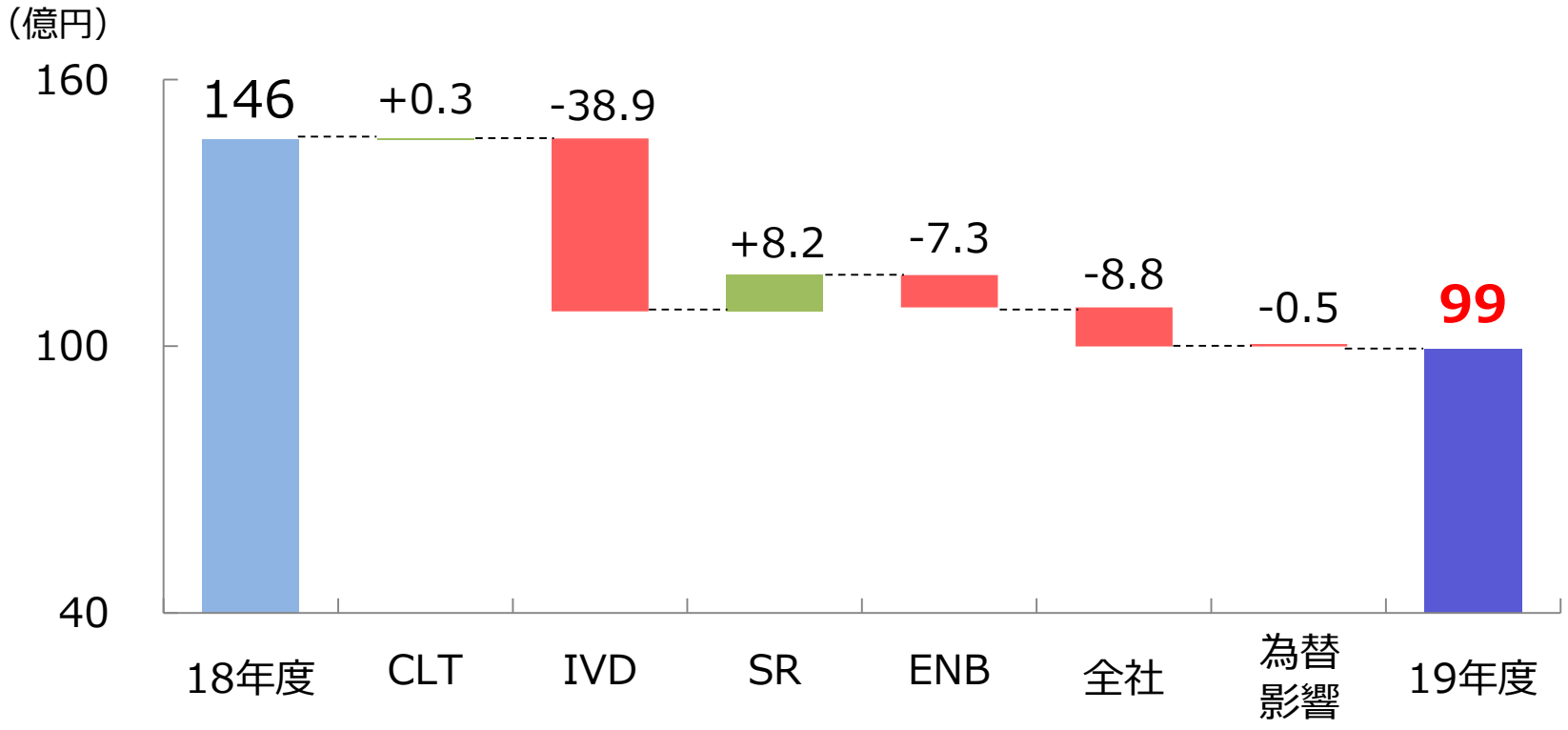

（億円）
2,000
1,900
1,800
1,700
1,814
+63.9
-46.9
+39.0
+23.2
-6.2
1,887
18年度
CLT
IVD
SR
ENB
為替
影響
19年度

# 連結営業利益 推移

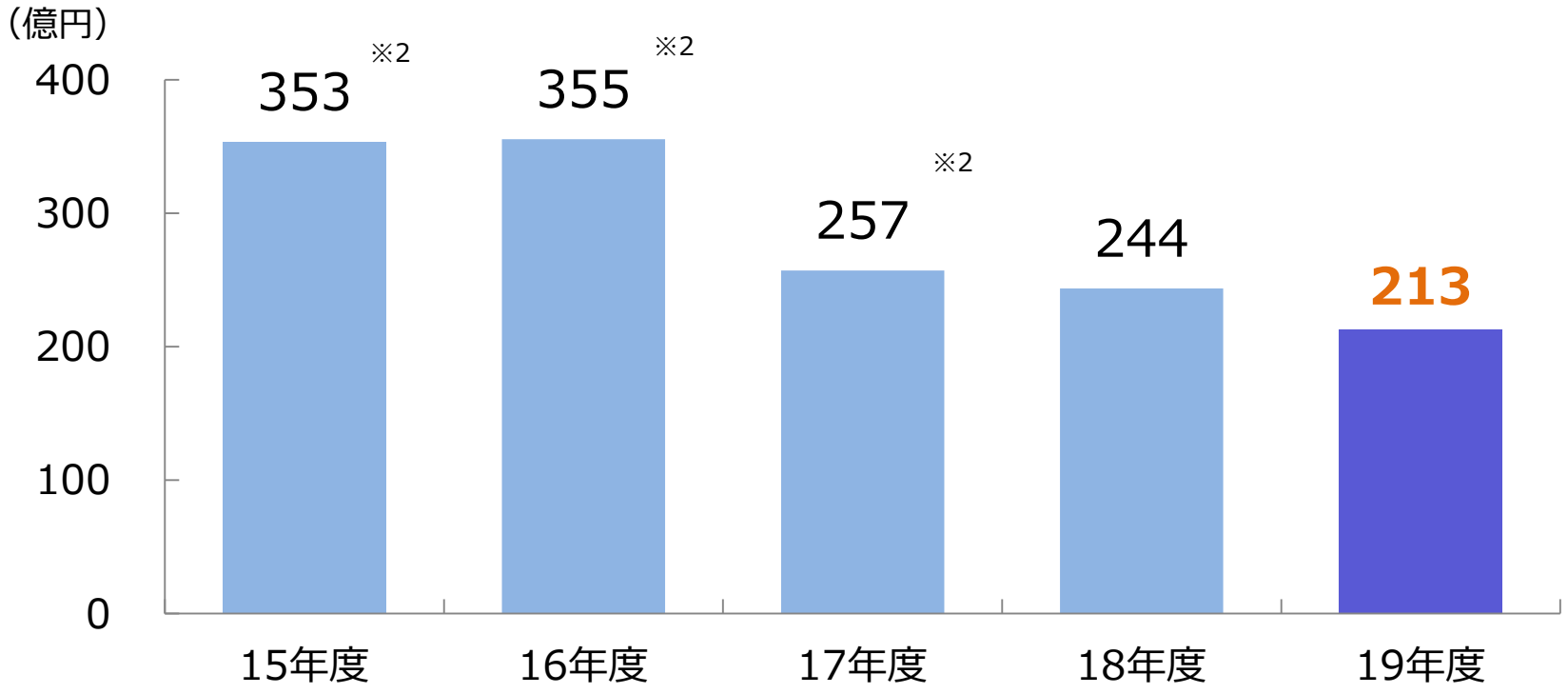



※　海外CLTを除く

# 連結営業利益 対前期比較

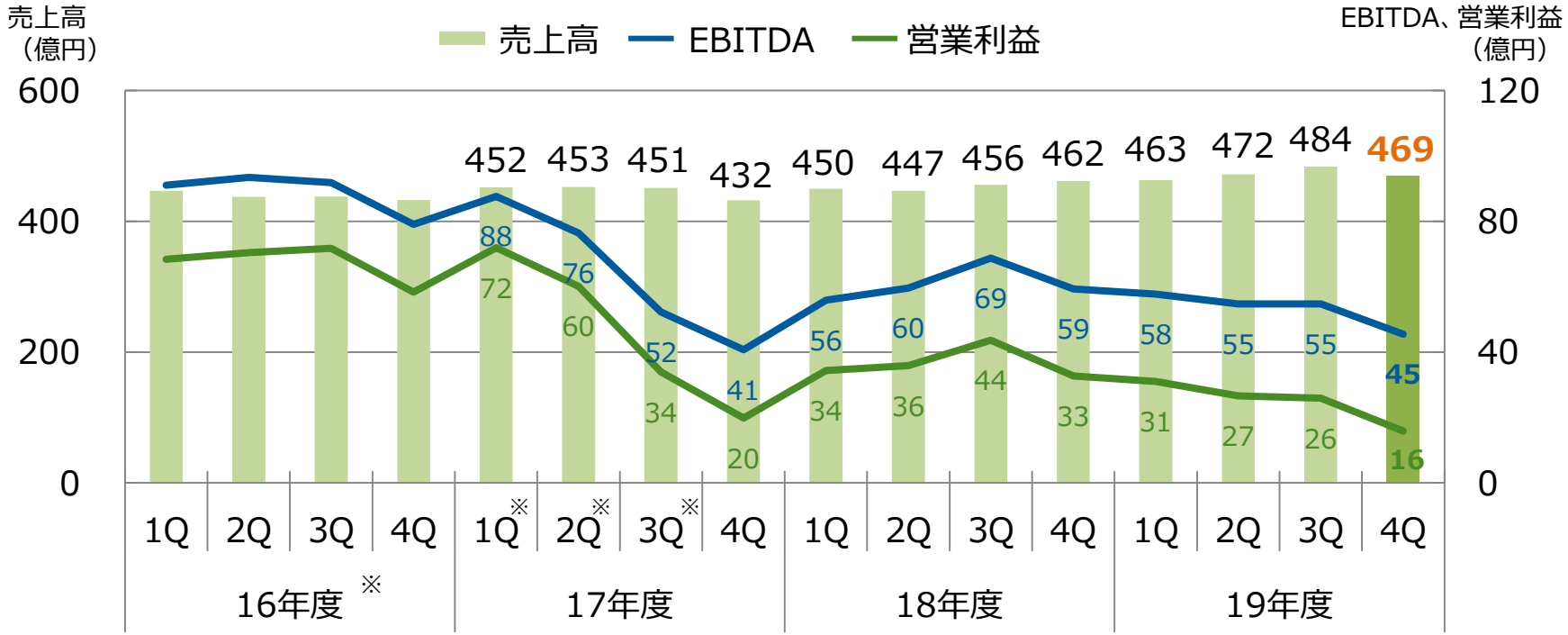


# 連結EBITDA※1の推移



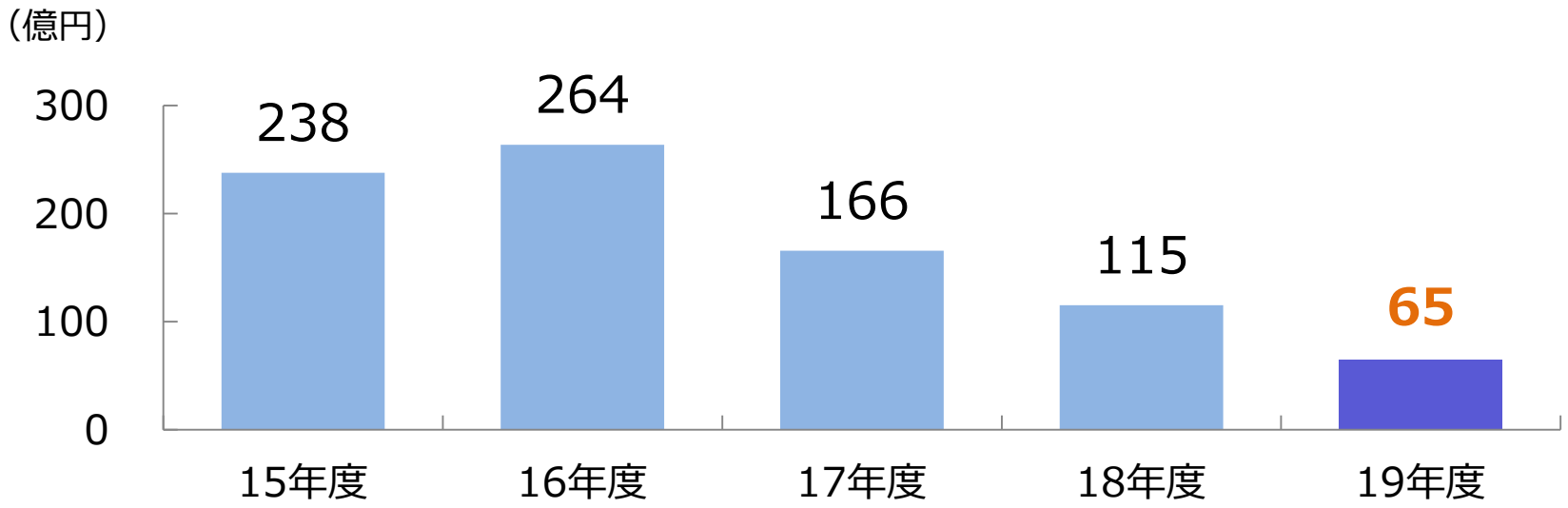

※1 EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ のれん償却費
※2 海外CLTを除く

# 四半期毎の業績推移




※ 海外CLTを除く

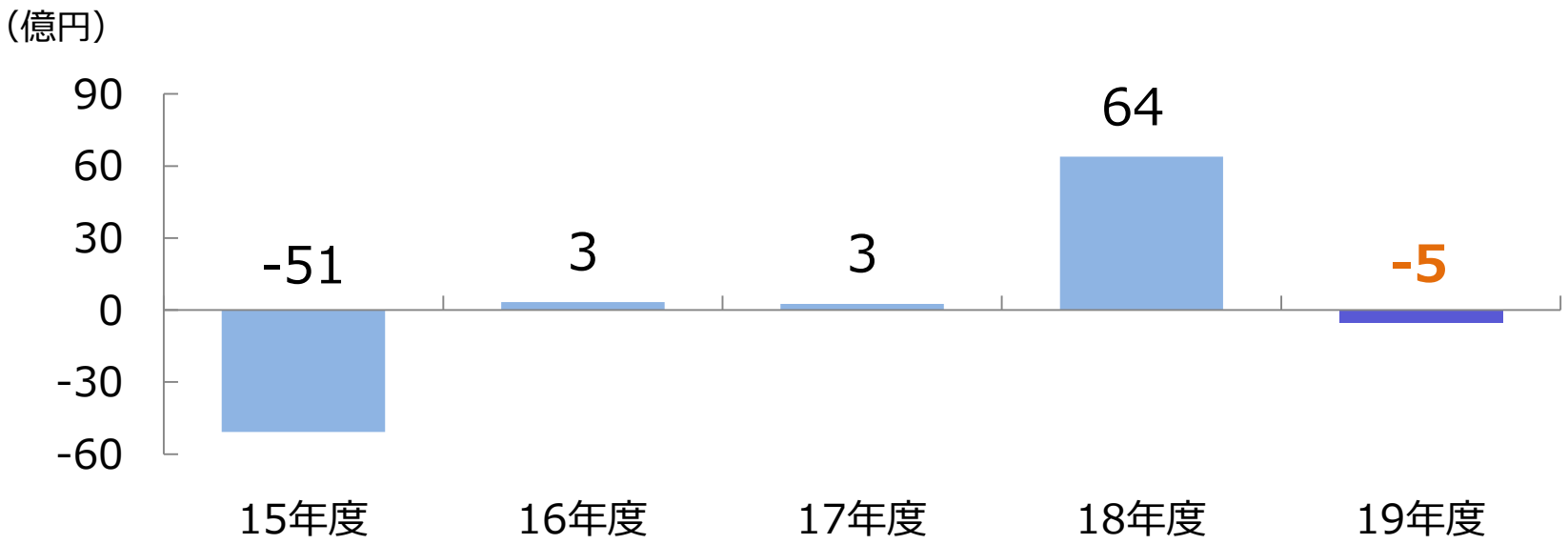
# 連結経常利益 推移




## 主な要因

| 【2018年度】 | 【2019年度】 |
| --- | --- |
| ● 持分法による投資損失 ▲35億円 | ● 持分法による投資損失 ▲35億円<br>BMGL：▲28億円（会計処理方法変更影響含む）<br>平安保険グループとのJV：▲7億円 |

# 連結当期純損益 推移

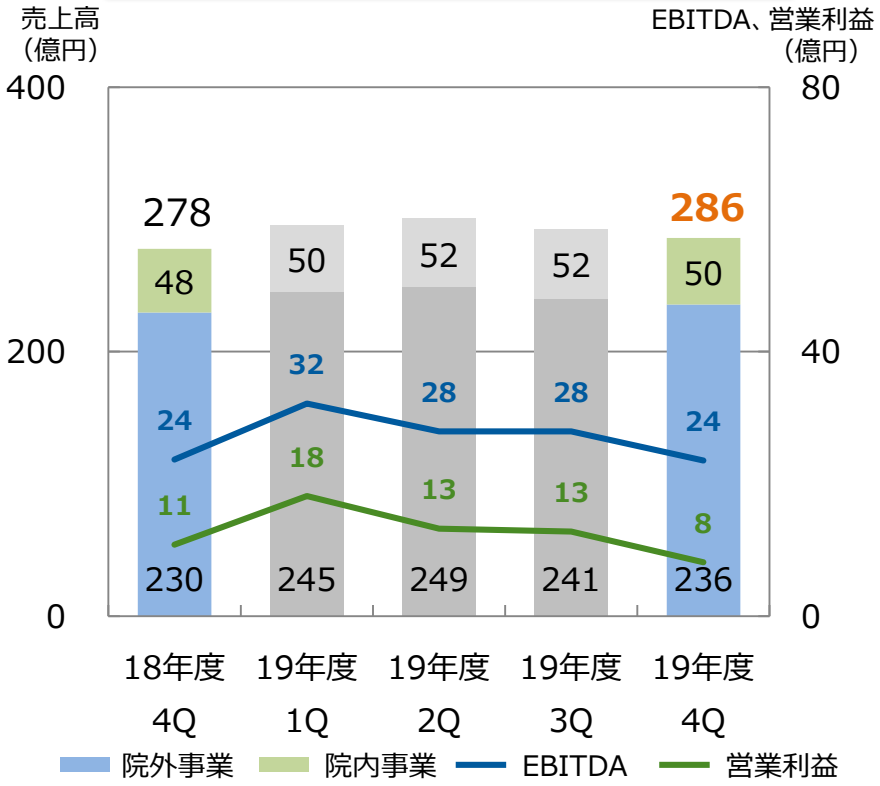



## 主な要因

| 【2018年度】 | 【2019年度】 |
| --- | --- |
| ● 法人税等調整額（繰延税金資産の取崩）▲34億円 | ● 法人税等調整額（繰延税金資産の取崩）▲58億円 |

# CLT事業

## 四半期推移




## 対前期比

（億円）

| | 18年度 | | 19年度 | | 対前期比増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 1,111 | | 1,175 | | +63.9 | +5.7% |
| 院内 | 196 | | 205 | | +8.5 | +4.3% |
| 院外 | 915 | | 970 | | +55.3 | +6.0% |
| EBITDA | 99 | 8.9% | 112 | 9.5% | +12.9 | +13.1% |
| 営業利益 | 52 | 4.7% | 52 | 4.5% | +0.3 | +0.5% |

### 売上高

- テスト数：＋5.2%
- 遺伝子関連検査の伸長
- 新規顧客獲得による増収

### 営業利益

- 固定費削減施策の発現遅延により利益率改善は限定的となったがEBITDAベースでは増益（+13億円）
- 減価償却費の増加（▲13億円）
- 中国展開のための費用（▲6億円）

新型コロナウイルス影響

- 売上高：▲17億円、営業利益：▲11億円

# 重点施策の結果

## 2019年度の結果

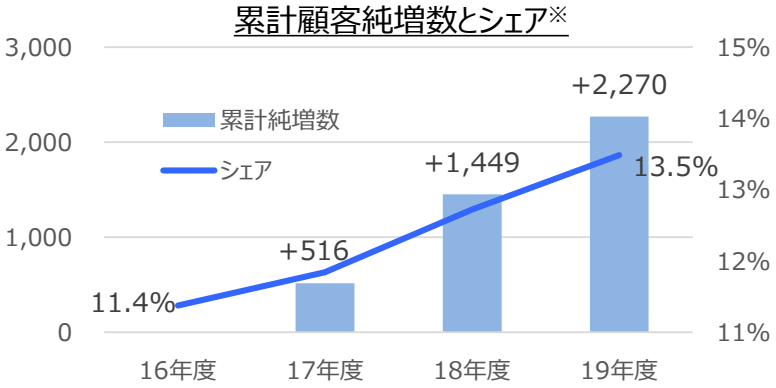
**開業医顧客の獲得**

- サテライトラボ開設及びデータ連携サービス等付加価値サービス強化による顧客数増加
  - 第4四半期は新型コロナウイルス影響によって獲得ペースが減速したが増加ペースを継続
    - ✓ 933件(2018年度) → 821件(2019年度)
  - 顧客数増加による売上成長率の加速
    - ✓ 対前年度比売上成長率
      2018年度：+2.5%、2019年度：+3.8%

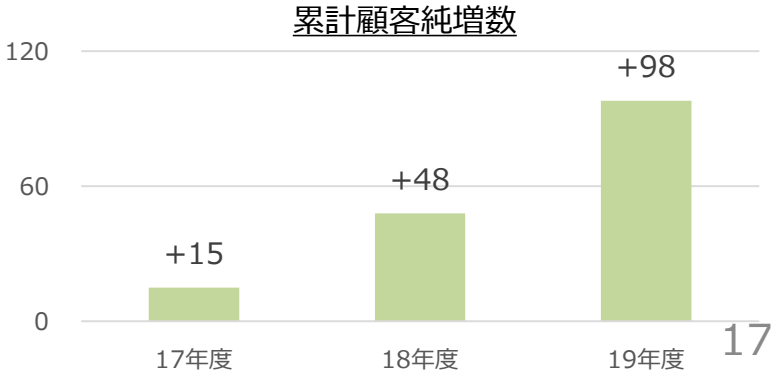
**院内検査顧客の獲得**

- 富士レビオ製品を核とした標準パッケージ提案による顧客数増加
  - ✓ 33件(2018年度) → 50件(2019年度)
  - 顧客数増加による売上成長率の加速
    - ✓ 対前年度比売上成長率
      2018年度：+2.5%、2019年度：+4.3%

## 3年間の結果

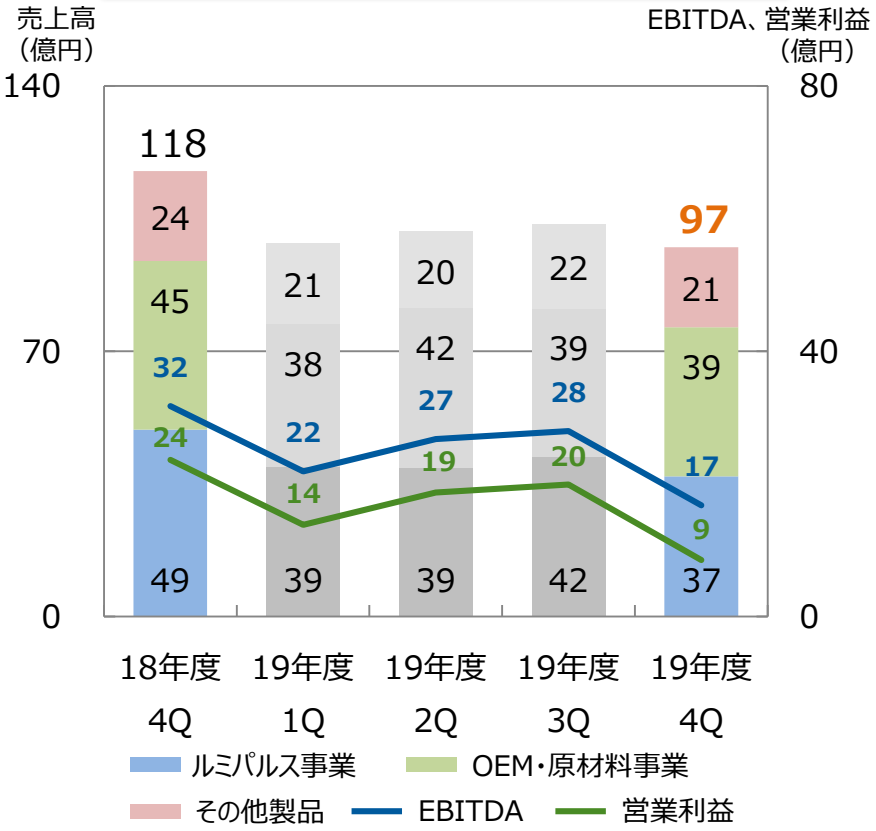



※ 開業医総数は厚労省「医療施設動態調査」を参照



# IVD事業

## 四半期推移




## 対前期比

（億円）

| | 18年度 | 19年度 | 対前期比 増減 | |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 454 | 401 | -53.1 | -11.7% |
| ルミパルス | 195 | 158 | -36.8 | -18.9% |
| 国内 | 180 | 136 | -44.3 | -24.6% |
| 海外 | 15 | 22 | +7.5 | +51.6% |
| OEM・原材料 | 163 | 158 | -4.7 | -2.9% |
| その他 | 96 | 85 | -11.7 | -12.1% |
| EBITDA | 132 29.0% | 93 23.3% | -38.2 | -29.1% |
| 営業利益 | 100 22.1% | 61 15.2% | -39.5 | -39.3% |

売上高
- 日赤事業の契約終了による減収
- 海外ルミパルスは伸長
- OEM・原材料事業は、為替影響及び新型コロナウイルス影響を除けば堅調に推移

営業利益
- 日赤事業の契約終了による減益
- 大口顧客獲得に伴う先行費用

新型コロナウイルス影響
- 売上高：▲4億円、営業利益：▲3億円

# 重点施策の結果

## 2019年度の結果

**ルミパルス**

【国内】

グループシナジーを活用した大型機設置の継続

- ✓ 設置台数：148台、機台純増数：2台
- ✓ 大型機比率増加
- ✓ グループ内取引額の伸長

【海外】

海外売上高の伸長

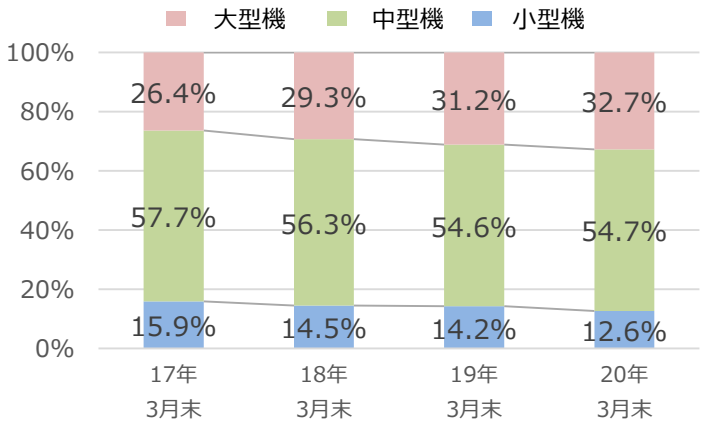
- ✓ アジア　設置台数：52台、機台純増数：48台
- ✓ 欧米　設置台数：78台、機台純増数：54台

**OEM・原材料**

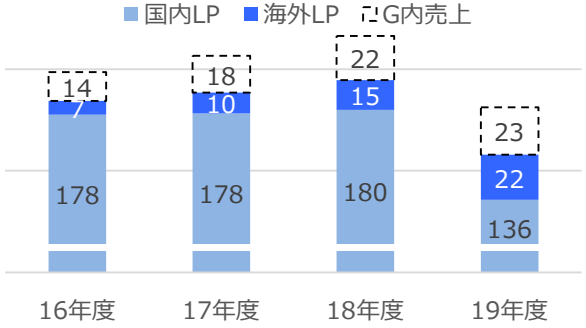
- 19年度は新型コロナウイルス影響やOEM供給先の需要減があるも堅調な成長を継続
- FDJ (富士レビオ・ダイアグノスティクス・ジャパン)を設立し、OEM事業の更なる強化に着手

## 3年間の結果

国内市場設置機台比率



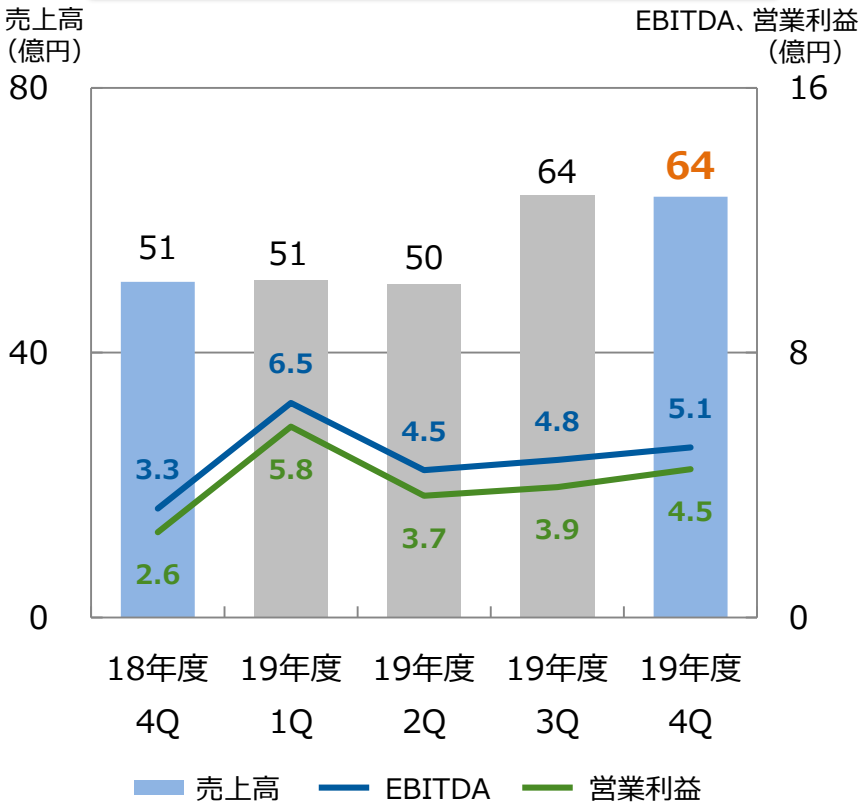

ルミパルス事業売上高（億円）




※　18年度までは日赤事業の売上を含む

# SR事業

## 四半期推移




## 対前期比

（億円）

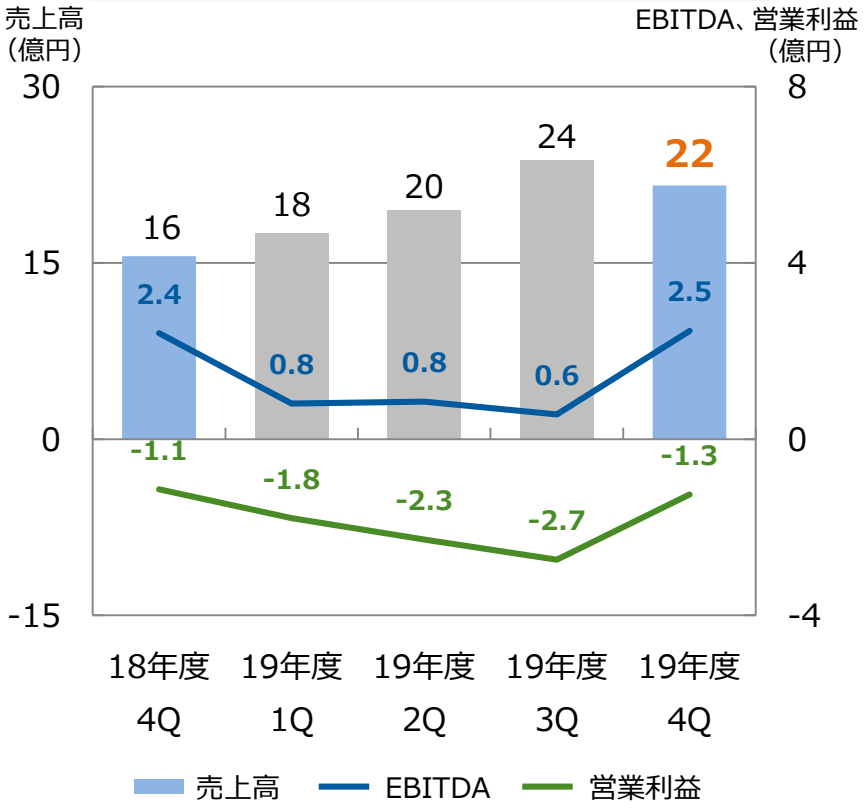
| | 18年度 | | 19年度 | | 対前期比 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 190 | | 229 | | +39.0 | +20.6% |
| EBITDA | 12 | 6.6% | 21 | 9.1% | +8.4 | +67.7% |
| 営業利益 | 10 | 5.1% | 18 | 7.8% | +8.2 | +84.6% |

売上高
- 設備機器や消耗品等の販売が伸長
- 大口顧客への医材預託品販売を開始
- 契約価格見直しによる増収

営業利益
- 契約価格見直しによる増益

# ENB事業

## 四半期推移




## 対前期比

（億円）

| | 18年度 | | 19年度 | | 対前期比 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 59 | | 82 | | +23.2 | +39.3% |
| EBITDA | 11 | 18.3% | 5 | 5.7% | -6.2 | -56.9% |
| 営業利益 | -1 | -1.3% | -8 | -9.8% | -7.3 | - |

売上高
- 在宅・福祉用具事業の伸長（＋5億円）
- セルメスタの売上が寄与（＋20億円）
- 地域医療支援センターの連結除外による減収（▲6億円）

営業利益
- 3Qまでは利益率悪化も4Qに改善

各事業の進捗
- 食品・環境・化粧品検査事業
  日本食品エコロジー研究所を完全子会社化（2019年12月）

# 連結業績（対前期比）

（億円）

| | | 18年度 | | 19年度 | | 対前期比増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **売上高** | | **1,814** | | **1,887** | | **+73.0** | **+4.0%** |
| | CLT | 1,111 | | 1,175 | | +63.9 | +5.7% |
| | IVD | 454 | | 401 | | -53.1 | -11.7% |
| | SR | 190 | | 229 | | +39.0 | +20.6% |
| | ENB | 59 | | 82 | | +23.2 | +39.3% |
| **営業利益** | | **146** | **8.1%** | **99** | **5.3%** | **-47.1** | **-32.1%** |
| | CLT | 52 | 4.7% | 52 | 4.5% | +0.3 | +0.5% |
| | IVD | 100 | 22.1% | 61 | 15.2% | -39.5 | -39.3% |
| | SR | 10 | 5.1% | 18 | 7.8% | +8.2 | +84.6% |
| | ENB | -1 | -1.3% | -8 | -9.8% | -7.3 | - |
| **経常利益** | | **115** | **6.4%** | **65** | **3.4%** | **-50.6** | **-43.9%** |
| **親会社株主に帰属する当期純損益** | | **64** | **3.5%** | **-5** | **-0.3%** | **-69.0** | **-** |
| **EBITDA** | | **244** | **13.4%** | **213** | **11.3%** | **-30.8** | **-12.7%** |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **ROE** | **5.7%** | **-0.5%** | **-6.1%** | **-** |
| **ROIC** | **6.3%** | **3.7%** | **-2.5%** | **-** |

※1　全社費用およびセグメント間取引消去を含む(18年度：▲14.8億、19年度：▲23.6億円)
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費
※3　各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率

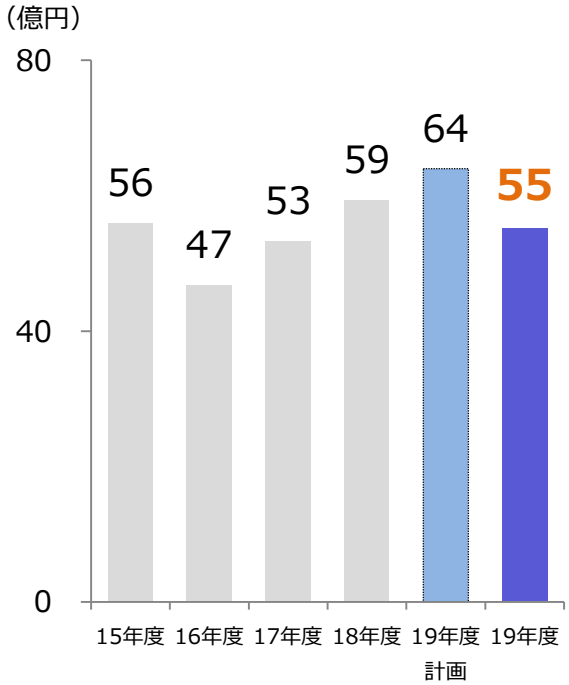
# 主要KPI

| | | | | 2019年度 | 2018年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| CLT | 院内検査受託施設　純増減数 | | | ＋50 | ＋33 |
| | 開業医顧客　純増減数 | | | ＋821 | ＋933 |
| IVD | ルミパルス | 国内※ | 設置台数 | 148 | 150 |
| | | | 純増減数 | ＋2 | ＋30 |
| | | 海外 | 設置台数 | 130 | 135 |
| | | | 純増減数 | ＋102 | ＋117 |
| | グループ内取引純増減金額（億円） | | | ＋1.6 | ＋3.4 |

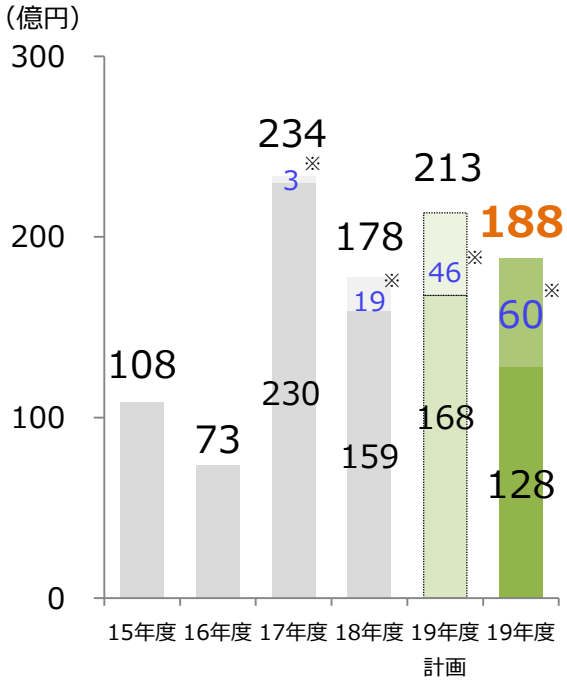
※　グループ内（CLT院内含む）・グループ外設置の総数

# R&D、設備投資額、減価償却費（海外CLTを除く）

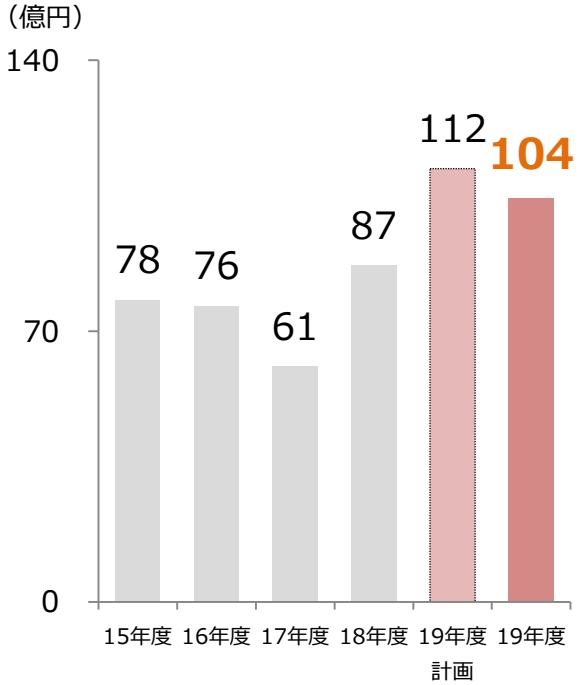
## 研究開発費




## 設備投資額



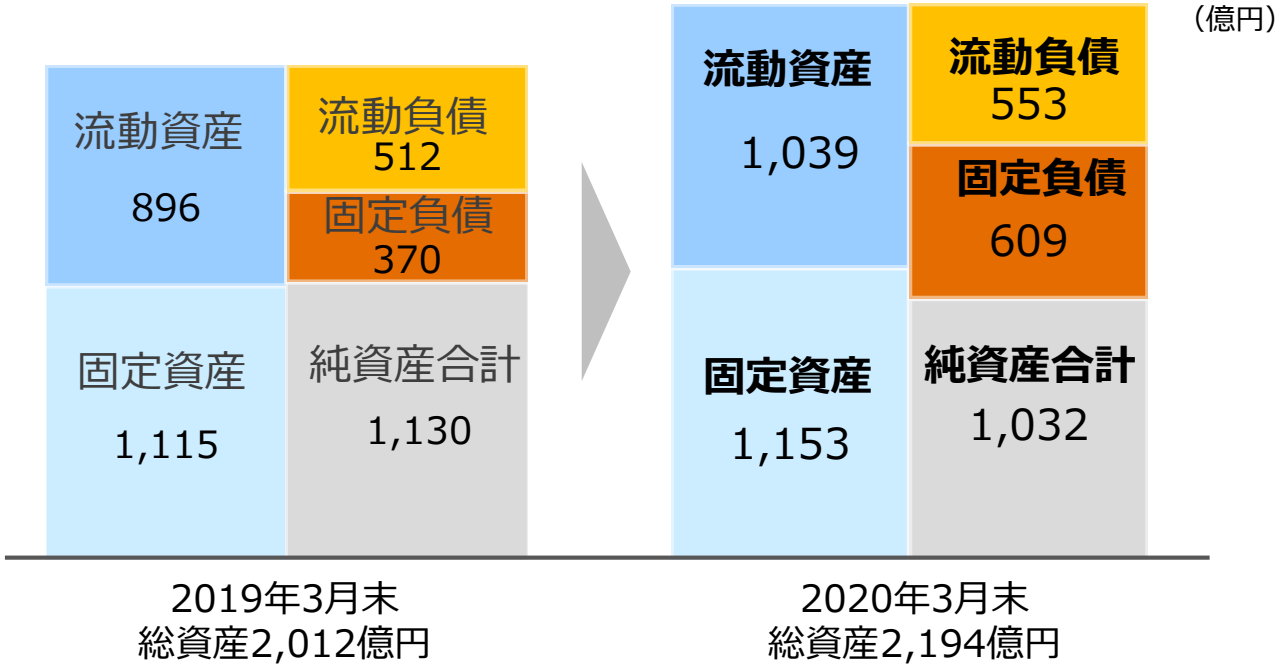

## 減価償却費




※　新セントラルラボ関連投資

# 連結貸借対照表

- あきる野プロジェクトのための資金250億円をソーシャルファイナンスによって調達
- 財務規律に関する指標
  - 自己資本比率：56.0%（2019年3月末）→ 47.0% （2020年3月末）
  - （リース債務を除く）純有利子負債/EBITDA倍率： 0.54（2019年3月末）→ 1.37 （2020年3月末）



# 連結キャッシュフロー

| | 18年度 | 19年度 |
|---|---|---|
| 税金等調整前当期利益 | 114 | 61 |
| 減価償却費 | 87 | 104 |
| その他 | -47 | 78 |
| 小計 | 154 | 243 |
| 利息及び配当金受取額 | 2 | 1 |
| 利息の支払額 | -2 | -2 |
| 法人税等の支払額 | 8 | -90 |
| 営業活動によるCF | **162** | **152** |
| 固定資産の取得（有形、無形） | -267 | -156 |
| その他 | -82 | -62 |
| 投資活動によるCF | **-349** | **-218** |
| FCF | **-187** | **-65** |
| 借入及び社債発行による収入 | 367 | 250 |
| 長期借入金の返済 | -41 | -79 |
| 短期借入金の純増減 | 85 | - |
| 配当金の支払 | -74 | -74 |
| その他 | -17 | -15 |
| 財務活動によるCF | **320** | **82** |
| 現金同等物期末残高 | **337** | **362** |

（億円）

営業CF：前期比10億円減少

- 法人税等の影響を除いた営業CF（小計）は増加（＋89億円）

投資CF：前期比131億円減少

FCF：前期よりも改善

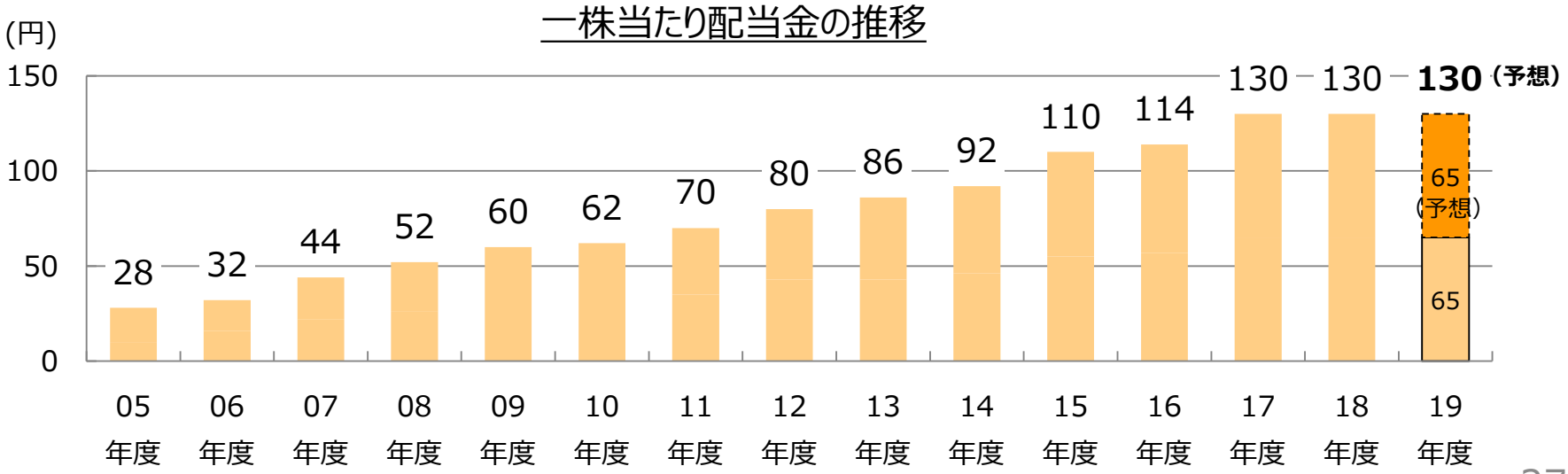
財務CF：前期比237億円減少

- ソーシャルファイナンスにより250億円を調達（社債200億円、ローン50億円）

# 配当について

◆ 株主還元基本方針に変更は無し

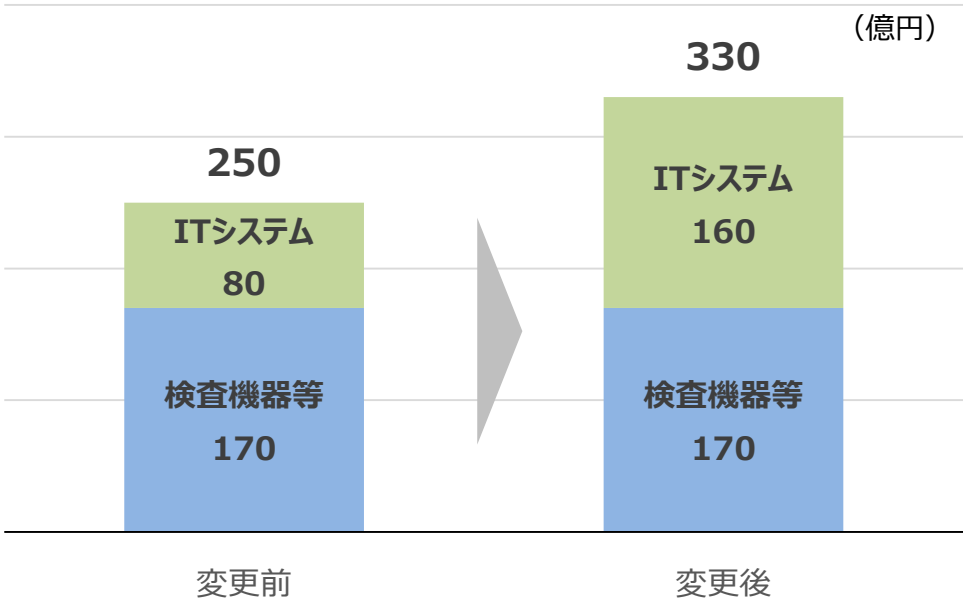
◆ 2019年度は130円の配当を予定



# あきる野プロジェクトについて

# 設備投資額の増加について

一般検査ラボの全自動化ラインの確実な稼働並びにITシステムの開発及び検証工程について再度精査を行った結果、投資額を見直し



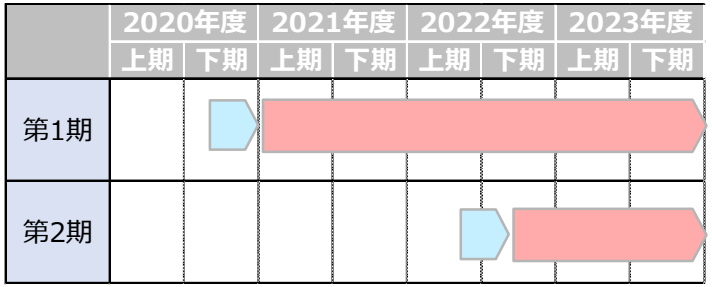

| | |
|---|---|
| 設備投資総額 | 330億円（＋80億円） |

| | |
|---|---|
| 減価償却費（全面稼働時） | 約53億円/年 |

# 稼働開始時期について

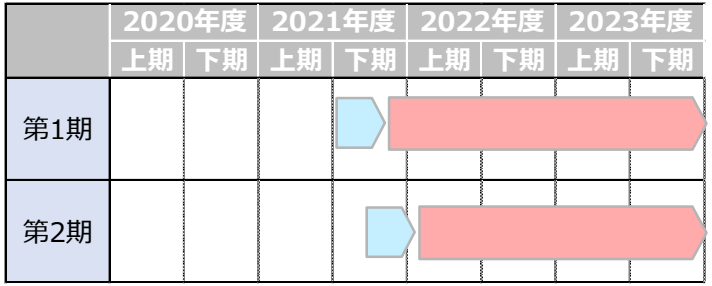
- 新セントラルラボと既存の八王子ラボの並行稼働期間を短縮することによるオペレーションコストの削減を目的として、稼働開始時期の後倒し及び第2期稼働時期の前倒しを行う
- 並行稼働期間は21か月から4か月へ短縮

**変更前**




第1期稼働：2021年4月
第2期稼働：2022年12月
並行稼働期間：21か月

**変更後**



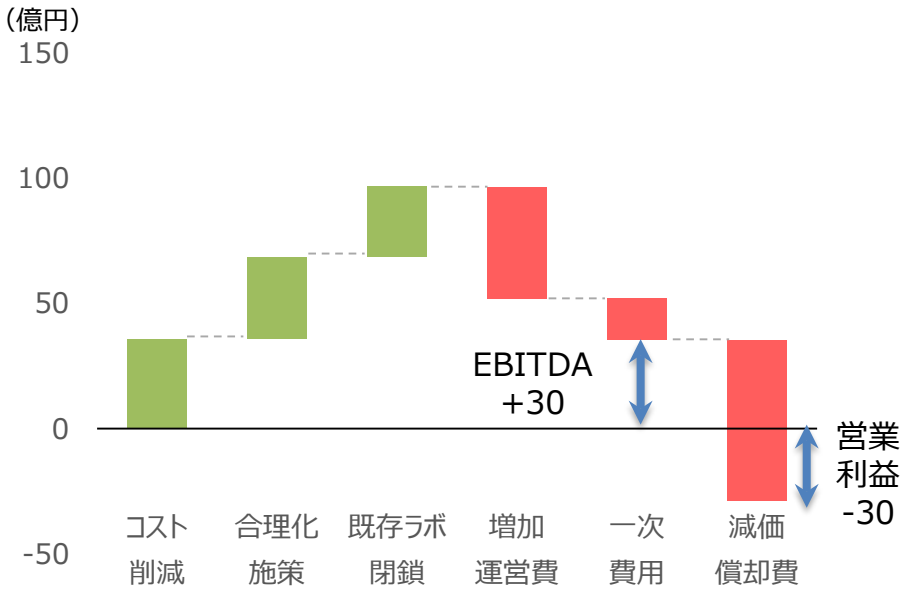

**第1期稼働：2022年1月**
**第2期稼働：2022年5月**
**並行稼働期間：4か月**

検証　稼働

# 新セントラルラボ稼働によるコスト削減効果

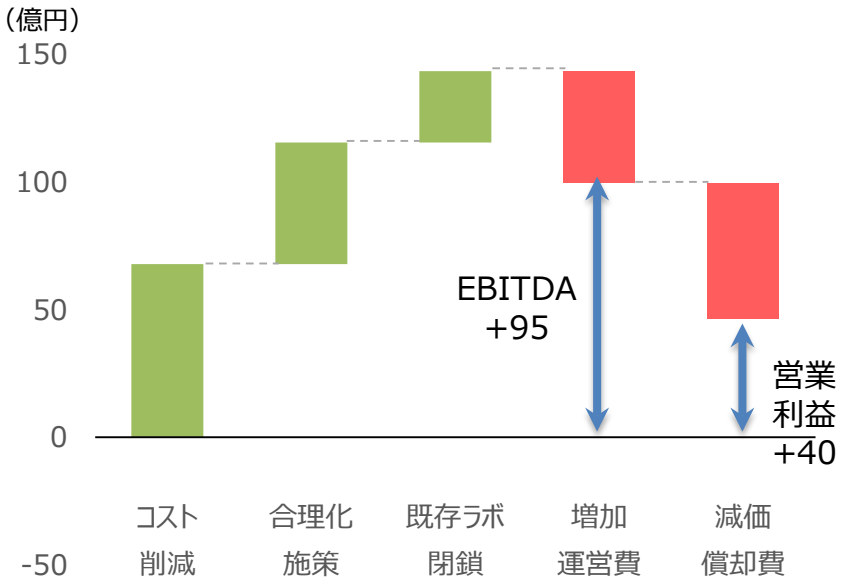
## 2024年度には収益性が大きく改善（営業利益:+40億円、EBTIDA：+95億円）

**2022年度**




- 自動化等によるコスト削減効果が限定的
- 一時費用が発生

**2024年度**

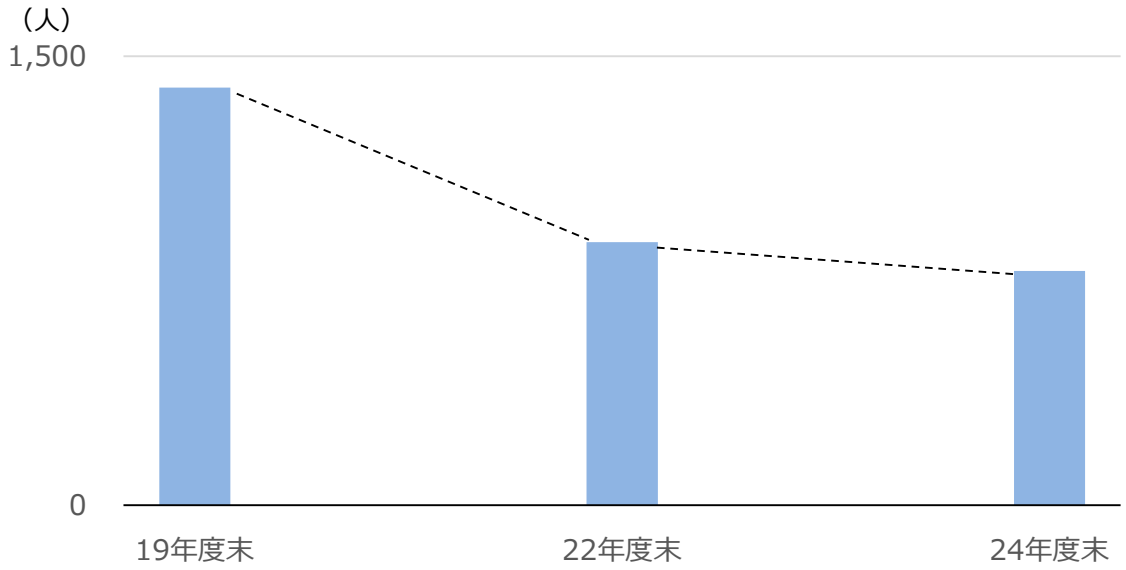



- 受付・一般検査自動化、ITシステム統合等によるコスト削減及び合理化施策によるコスト改善効果が、賃料を含む増加運営費、減価償却費の増加を上回る

※ 売上成長及び限界利益率の変化がない前提での試算

# 人員の推移に関して

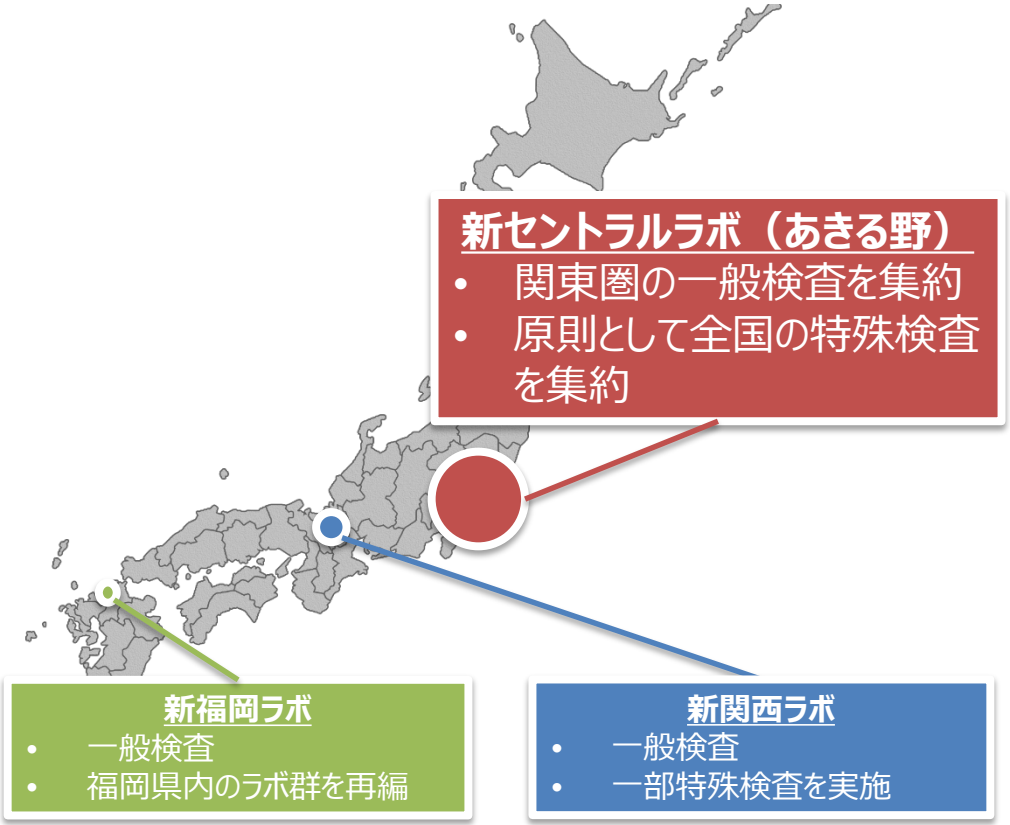
**八王子及び新セントラルラボの検査・受付従事人員数の見通し**




新セントラルラボ稼働と並行して全国ラボ再編を推進

# 全国ラボ再編について

## あきる野ラボ稼働を踏まえた効率的な全国ラボ体制を構築する




**新セントラルラボ、新関西、新福岡の3拠点体制を確立**

- 共通検査項目は相互補完性を確保（BCP対策）
- 物流コストを最適化

**サテライト及び地域ラボ（福岡を除く）をSTATラボ※化**

- 最少人数で地域緊急検査に特化
- TATの短縮と収益性を両立させ顧客獲得を進める

※ 緊急検査のみを実施するラボ

# 社名変更について

# 新社名について

H.U.GROUP
Healthcare for You

## H.U.グループホールディングス株式会社

H.U. = Healthcare for You

- “Healthcare” ：事業領域を「医療」から「ヘルスケア」へ拡大
- “for You” ：B2Cを意識し、「あなたに届ける」

「臨床検査を中心に医療を支え続けてきた存在」から一歩踏み出し、
一人ひとりと向き合い、全ての人に最適なヘルスケアを届けたいという想い

※ 第70回定時株主総会において定款変更が承認されることを条件とし、2020年7月1日から新社名へ

# Appendix

# セグメント別情報（IVD）

（億円）

| | | | 18年度 | 19年度 | 対前期比増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **臨床検査薬事業（地域別）** | | | **454** | **401** | **- 53.1** | **-11.7%** |
| | 海外 | | 241 | 237 | - 4.4 | -1.8% |
| | | 北米 | 120 | 116 | - 3.4 | -2.8% |
| | | 欧州 | 97 | 95 | - 1.8 | -1.8% |
| | | アジア・パシフィック（日本除く） | 25 | 25 | + 0.7 | +3.0% |
| | 国内 | | 213 | 164 | - 48.7 | -22.9% |

# 研究開発費、設備投資額、減価償却費

（百万円）

| | | 18年度 | 19年度 | 対前期比増減 | |
|---|---|---|---|---|---|
| **研究開発費** | | **5,937** | **5,514** | **-423** | **-7.1%** |
| | CLT | 320 | 355 | +35 | +10.9% |
| | IVD | 4,845 | 4,227 | -618 | -12.8% |
| | SR | - | - | - | - |
| | ENB | - | 1 | - | - |
| | MHD等 | 771 | 931 | +160 | +20.7% |
| **設備投資額** | | **17,768** ※ | **18,833** ※ | **+1,065** | **+6.0%** |
| | CLT | 11,638 | 13,333 | +1,695 | +14.6% |
| | IVD | 3,146 | 2,286 | -861 | -27.3% |
| | SR | 258 | 1,014 | +757 | +293.1% |
| | ENB | 1,130 | 1,474 | +344 | +30.4% |
| | MHD等 | 1,594 | 724 | -870 | -54.5% |
| **減価償却費** | | **8,692** | **10,432** | **+1,741** | **+20.0%** |
| | CLT | 4,384 | 5,680 | +1,296 | +29.6% |
| | IVD | 2,598 | 2,763 | +165 | +6.3% |
| | SR | 226 | 261 | +35 | +15.5% |
| | ENB | 989 | 1,129 | +140 | +14.2% |
| | MHD等 | 493 | 598 | +105 | +21.2% |

※　新セントラルラボ関連投資を含む（18年度：約19億円、19年度：約60億円）

# 従業員数

（人）

| | 19年　3月末 | | 20年　3月末 | | 19年3月末からの増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 従業員 | 臨時雇用者 | 従業員 | 臨時雇用者 | 従業員 | 臨時雇用者 |
| **総従業員数** | **5,957** | **6,452** | **5,968** | **6,622** | **+11** | **+ 170** |
| CLT | 2,986 | 3,115 | 2,926 | 3,112 | -60 | - 3 |
| IVD | 1,116 | 121 | 1,129 | 118 | +13 | - 3 |
| SR | 1,181 | 3,118 | 1,161 | 3,152 | -20 | + 34 |
| ENB | 304 | 73 | 393 | 188 | +89 | + 115 |
| MHD等 | 370 | 25 | 359 | 52 | -11 | + 27 |

人と医療のまんなかで、Miraca

# 【連絡先】


## みらかホールディングス株式会社

**コーポレートコミュニケーション本部　IR/SR部　　TEL：03-5909-3337**


**将来見通しに関する注意事項：**

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。